



The more people walk, the better the path will be.

テストで高得点！なのに出题者にクレーム！？

文責:小島義和

高校卒業後、浪人生活が始まって初めての模擬試験を受けた5月GWごろの思い出です。

高校までは、テストが終われば「やっと終わった！」と解放感に浸るのが当たり前でした。ところが予備校では違います。試験直後に解答と解説が配られて、すぐに自分がどう解答したのかを記憶と問題用紙のメモをもとに自己採点。その後に間違えた問題を復習していくことが求められていました。

正直に言うと、この「自己採点とやり直し」はテスト勉強より大変で、苦しいものでした。私の場合、間違いや白紙の問題ばかりで、自分の弱点を突きつけられ、自分の“出来の悪さ”と向き合うことを、強いられるからです。

試験後に自己採点をして疲れ切り、食堂で一人コーヒーを飲んでいると、後ろの席からこんな会話が聞こえてきました。



「今回の問題、出題が悪いよな」「あんなの受けても全然意味が無いじゃないか！」

最初は「できなかったからって出題者に文句を言うのってどうよ…」と聞いていました。ところが話をよく聞くと、その人はほぼ96点で、志望校の合否判定はすべてA判定[合格確実の判定!]間違いなしの、いわゆる“よくできる人”だったのです！
では、なぜ怒っているのでしょうか？



その人は難関校に挑戦して不合格となり、浪人していました。彼にとって大切なのは、「この1年で自分の弱点を見つけ、合格できる力をつけること」です。今はその不合格になってからひと月と少しのところで、まだまだ成長が必要と感じている。ところが、ほとんど間違えないテストでは自分の課題が見えず「試験を受けた意味がない」と怒っていたのです。「絶対合格」と判定されても、イヤミにしか感じないと言っていました。



この話を聞いたとき、私はハッとしました。

自分にとってテストは、「受けること」や「点数」がゴールになっていたからです。点数が高ければ喜び、低ければ落ち込んで終わり。でも本当は、テストは「受けた後が大事なのだ」ということが、やっとストンと理解できました。

それ以来、私は「×になった問題こそ宝」だと考えるようになりました。テストは受けた直後からが本番。点数が低くても問題ありません！むしろ、弱点がたくさん見つかるテストほど価値があるのです。テストは結果ではなく、「そこに向かう過程」と「終わった後に何をするか」に意味があります。自分の力を伸ばすための道具として、上手に付き合っ、利用していきましょう。努力は必ず報われる！その成果は目の前の点数とは限らない！

さあ、立場が変わった今、私は「簡単に100点とれるような失礼な問題作成者」にならないように頑張りますね！

[知ってて、トクしてコジマ式！]

5月の行事予定

- 3日 祝日（憲法記念日）※『生徒支援部だより（5月号）』参照
- 4月 祝日（みどりの日）
- 5火 祝日（こどもの日）
- 6水 振替休日
- 7木 **考査時間割発表（部活動停止～15日）**
制服：夏・冬併用期間（～6/12金）※『生徒支援部だより（衣替え号）』参照
- 8金 カウンセリング予定日、土砂災害避難訓練
- 9土 休業日
- 10日 休業日
- 12火 通常6限
- 13水 **中間考査（第1日）**
- 14木 **中間考査（第2日）**
- 15金 **中間考査（第3日）**
- 16土 休業日
- 17日 休業日
- 19火 45分授業
- 20水 検尿二次
- 21木 検尿二次
- 22金 第1回QU検査、カウンセリング予定日、1年交通安全教室（6限目）、45分授業
- 23土 休業日
- 24日 休業日
- 28木 歯科検診（午後）、45分授業
- 29金 カウンセリング予定日
- 30土 休業日
- 31日 第1回英検1次、休業日



中間考査について

- ☆ 1年生は初めてとなりますが、1学期の2回のテストで「取り組み方」をつかんでください。
- ☆ 2年生は中学生生活折り返しの学年となります。今までの取り組みを振り返り、これからの勉強方法に活かしてください。
- ☆ 3年生は集大成の年となります。来年からの高校生活でも活躍できるよう、着実に知識と活用力を強化してください。

考査時間割 ※高校生は12日（木）から中間考査が始まります

	5 / 1 3 (水)			5 / 1 4 (木)		5 / 1 5 (金)	
	1 限	2 限	3 限	1 限	2 限	1 限	2 限
中1	自 習	代数・幾何		国 語	地理・歴史	理 科	英 語
中2	国 語	代 数		地理・歴史	理 科	英 語	幾 何

中3	英 語	言語文化	数Ⅰ	理 科	現代の国語	数学A	歴史・公民
----	-----	------	----	-----	-------	-----	-------